

「スマホソフトウェア競争促進法に関する指針（案）に対する意見」

概要

意見提出の背景と全体趣旨

- ・デジタル市場における競争政策は、利用者体験とイノベーションの促進を両立する必要がある。
- ・ODBCは、利用者・開発者・中小事業者の観点から、指針案に対し16項目の意見を提出。
- ・本資料は、各意見の背景・論点・提案を整理し、政策設計上の改善点を提起。

意見1・2 | 利用者利便性と多様な選択肢の確保

意見1: 利用者利便性の確保を基本原則として明記すべき

- 世界的に、利用者利便性は競争促進の鍵とされる(EU等の事例あり)
- 利用者の体験悪化は、開発者の自由やエコシステム全体の停滞に直結

意見2: 多様な選択肢(alternative options) の確保を明示すべき

- 相互運用性の確保は価格・品質・サービスの競争を促進
- 「囲い込み」構造が利用者の選択と競争を阻害

提案: 第2章1節に「公取委は利便性と多様な選択肢確保を適切に考慮する」と記載すべき

意見3 | 安全性と相互運用性の両立

- ・ユーザー安全性は重要だが、過度な制限は相互運用性を妨げる
- ・技術的に安全性を確保する手段が存在する場合、制限は不要
- ・eSIMや決済情報等の例外は必要だが、一般的な拒否理由として濫用すべきでない

提案：「安全・安心の確保」は一律の正当化理由とはせず、技術的代替手段がある場合は義務化すべき

意見4 | 公序良俗による公証制度の除外

- 公序良俗は文化・宗教・国の制度に依存し、OS指定事業者による判断は不適切
- 技術的健全性の確保が公証制度の本旨
- 二重規制・責任不明・文化的多様性の軽視につながる懸念

提案：公序良俗をアプリ審査理由に含めないよう明記。審査の範囲を技術的観点に限定

意見5 | OS機能の相互運用性（9機能）

- 欧州DMAが例示する9機能（例：Wi-Fi自動接続、NFC等）を日本の指針にも明記すべき
- Quick ShareやAirDropに見られる「囲い込み」はユーザーの利便性を大きく損なう

提案：相互運用性対象機能として9機能を明示、設計段階からの対応（interoperability by design）を求める

意見6 | 手続きの透明性と迅速性

- ・指定事業者と第三者との連携プロセスが不透明・遅延リスクあり
- ・欧州では対応義務や期限設定が導入されている

提案：要望受付～協議～対応の手続きを制度上明文化し、記録・開示・期限設定を促すべき

意見7～8 | 無償提供と知財の制限

意見7：相互運用性情報は原則「無償かつ制約なし」であるべき

意見8：知財による制限は、明確な権利・FRAND条件・価格根拠の提示が必要

提案：有償提供の場合、指定事業者が価格や根拠を開示し、立証責任を負うべき

意見9 | 一次提供アプリとの機能格差是正

- OS統合アプリが特権的にAPIやハードウェアへアクセス
- 第三者製アプリが機能的に劣後し、競争環境が歪む

提案： アクセス条件の平等化、一次提供アプリとの格差是正を具体例として指針に明記

意見10 | 過剰なセキュリティ主張の抑制

- ・ 指定事業者が「セキュリティ」や「プライバシー」を理由に制限
- ・ だが、オープンシステムでも安全性確保は可能（研究報告あり）

提案：制限が正当と認められるには、他の手段が存在しないことの合理的証明が必要

意見11 | ブラウザエンジンの強制排除の是正

- ・他ブラウザが機能制限を受け、ネイティブアプリに比べ不利
- ・機能例：Web Bluetooth非対応、プッシュ通知非対応など

提案：技術的制約は原則禁止。安全確保を理由とする場合も立証責任を明示

意見12～13 | クラウドデータとポータビリティの費用

意見12：クラウド上のデータもデータポータビリティの対象とすべき

意見13：データ移転費用は原則無償。有償時は厳格な証明義務

提案：端末+クラウドの両方を対象に明記、地域間での差別的価格を監視すべき

意見14 | 「恐怖表現」の禁止

- ・「安全でない可能性があります」などの警告は、実質的な選択妨害
- ・欧州DMAでも同様の禁止規定あり

提案：表示は事実に基づいた中立的表現に限定するよう明記

意見15 | リンク機能の実質的制限是正

- アプリ内リンクのパラメータ削除による妨害事例
- キャンペーン誘導やコンバージョン測定が不能に

提案：外部リンクに含まれるパラメータの削除・遮断を禁止、リンク機能の完全性を担保

意見16 | 報復的措置の禁止

- ・指定事業者による検索順位の引き下げや審査遅延などが懸念される
- ・利用者・事業者の制度活用を萎縮させる恐れ

提案：報復的行為の具体例を明記し、「いかなる形式も許容しない」姿勢を明確にする